

代表質問(3)、議会 NEWS ①・②

西東京市議会公明党

市民の声を集約した公明党の政策が随所に反映される！市長は公約実現の総仕上げを

藤田美智子 田代伸之 大田光昭 小林昭之 佐藤公男 小幡勝己

【質問】 市長が取り組んできた健康寿命の延伸は、平成27年から29年の推移を見ると多摩26市で本市だけが悪化している。健康に過ごせる期間が短くなるということと、高齢者の医療費、介護費用が上昇するのみならず、現役世代への負担増にもつながる。自助努力をしている元気な高齢者の介護保険料も上がり続けている。任期最終年にどのような結果をもって市民の期待に応えるのか。

【市長】 本市の成果指標は目標に至っていない。現状をしっかりと受けとめ、健康寿命の延伸に努める。

【質問】 働く意欲のある高齢者がその能力を十分に発揮できるように、活躍の場を整備することは重要。「生涯現役応援窓口」設置状況は。さらに、対応職員には専門的な知識や経験が必要であるが、見解を問う。

【市長】 55歳以上の高齢者の就労や社会参加、就労先への定着等の伴走型支援を行う。窓口には、就労等に関する専門的な知識や経験を持つスタッフを配置する。

【質問】 これまで求めてきた「福祉丸ごと相談窓口」の新設、「生活サポート相談窓口」の整備の状況は。

【市長】 何でも相談でき、窓口がわからなくて困ることがない窓口を田無・保谷庁舎に開設する。田無庁舎の

窓口名称は「福祉丸ごと相談窓口」となり、高齢者のセカンドライフを応援する「生涯現役応援窓口」も併設する。「生活サポート相談窓口」は、両庁舎に設置する。相談機能を1カ所に集結し体制強化を図り、複雑化した課題を抱えるケースにも対応する。

【質問】 本市は総合戦略で、自転車を活用したまちづくりを掲げている。かえって通りに等に市独自の自転車ナビマークを設置し、高齢者が安全に走行できる環境整備を求める。

【市長】 庁内検討委員会を立ち上げ、市独自の自転車ナビマークの設置基準を定め、かえって通りを含む市道の優先整備路線の選定など、早期の実施に向け取り組んでいく。

【質問】 SDGsの目標でもある食品ロス削減について、令和2年度の取り組みは。



自転車の安全な通行を促すために設置されている「自転車ナビマーク」

【市長】 食品ロスの軽減は、廃棄などにかかるエネルギー

消費と温室効果ガスの排出抑制に大きく貢献するものと認識している。市が主体となってフードドライブに取り組み、環境教育の観点からも食品ロスの軽減を推進していく。

【質問】 児童虐待の未然防止には、個人情報保護の壁がある。子どもの命を守ることは、保護者をも救う。関係者間の綿密な連携が必要だが、見解は。

【市長】 子ども家庭支援センターに情報を集約し、緊急性を判断し速やかに支援していく。関係各課が集まり、相談支援の仕組みづくりを進め、子どもの成長に伴う問題の深刻化を未然に防ぐよう検討を進めていく。

【質問】 市民と行政の協働について、方針を改定する理由と変更内容は。

【市長】 現行の方針は策定から一定年度経過し、実施状況と方針内容に乖離が生じている。協働のまちづくりの促進に向け、学識経験者等による検討の結果、市民自治会・町内会、協議会、企業にも範囲を広げ再定義した。今後、各課に協働推進員を配置して進め、対等な協力関係のもとで、目標に取り組みしていく。

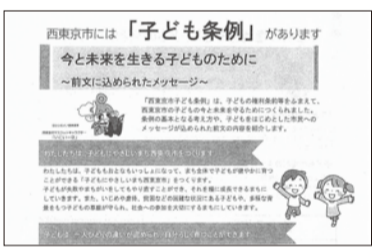
【質問】 待機児童解消に向け認可保育所2カ所を整備される。保護者負担の軽減、公衆衛生、感染予防の観点からおむつ回収を施設内で

行うよう求めてきたが、現状と課題は。

【市長】 保育施設75施設中、33施設でおむつ施設内回収を実施。園舎で保管後、園舎外の廃棄場所へ排出する。今後、保管場所の整備や回収回数を含め、処分費用等について検討したい。

【質問】 妊娠届を提出する時期は、母子健康手帳を受け取りよく読む時期でもある。母子健康手帳を活用した子ども条例の普及啓発を提案してきたが、進捗状況は。

【市長】 子ども条例と子ども権利条約を説明したチラシを作成し、母子健康手帳交付時のファイルに同封する。また、交付窓口等で保護者に紹介し周知する。市外の小中学校に通学する児童生徒には、関係部署が連携して情報が行き渡るよう努める。



母子健康手帳と一緒に同封されている子ども条例のチラシ(一部抜粋)

【質問】 指定管理者との防災協定で、昼夜の役割分担など、行政がどこまで対応を任せるのか明確にせよ。

【市長】 災害時には通常の指定管理以外の業務が求められると予想する。役割を明確にして協力関係を構築する必要があり。指定管理者の更新の時期を捉え、協議する。

【質問】 大規模災害で多数の負傷者が発生した際、市民

が簡易な方法で搬送順位を決める「市民トリアージ」を訓練することで防災意識向上にもつながる。本市でも普及啓発に努めるべき。

【市長】 市民トリアージについては、防災教育等に期待が持てる。今後調査したい。

【質問】 放課後子供教室について、本市の方針、あり方を示すべき。

【教育長】 令和2年度に今後の取り組みの方向性を方針として示し、各学校の施設開放運営協議会と意見交換して、事業の充実を図る。

【質問】 不登校の未然防止には、不安への対処力を養うことが重要。千葉大学が行う、不安に自ら対処する方法を学び、適切な対処スキルを身につける予防教育プログラムを実施すべき。

【教育部長】 教育計画の基本方針に掲げる「子どもの心の健康の育成に向けて」を進める中で、提案も含め、不安への対処力を養うプログラムについて検討する。

【質問】 小中学校の消防設備が消防点検で数多く指摘されていたことがわかった。早急な改善を求めたが、その後の検討結果は。

議会 NEWS ②

議員研修会

議員の資質向上を図るため、毎年各方面から講師を招いて議員研修会を実施しています。令和元年度第2回目の議員研修会として、議員活動に欠かすことのできない政務活動費について、最新の全国の政務活動費の状況と運用に当たった課題をご講演いただきました。

- 【日程】 1月23日(木)
【場所】 田無庁舎議会棟4階
【題目】 政務活動費の実務
【講師】 元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田一夫氏



議会 NEWS ①

採択された請願・陳情への市の対応

市議会で採択された請願・陳情については、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは平成31年・令和元年に採択された陳情4件のうち、結果等を請求することに決した1件について市からの報告をお知らせします。

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Content. Item: 同性パートナーシップの公的承認についての陳情. Date: 令和元年6月25日. Summary: 陳情の趣旨を踏まえ、庁内で検討してまいります.